

京都市文化市民局  
 (担当：市民スポーツ振興室 TEL366-0314)  
 京都マラソン実行委員会

**山中教授や青木愛さんが  
 大会への熱い思いを語ります！！**

### 「京都マラソン2017」出走者発表記者会見について

この度、「京都マラソン2017」応援大使の中から**5名の出走者を発表**するとともに、**新任の応援大使である青木愛さんをお披露目**するため、記者会見を開催します。

併せて、2017大会で実施する「駅伝発祥100年記念企画」から、「地域の絆・つながり 粋（ペア駅伝京都市民粋）」を代表して、山科区在住のペア1組を御紹介するとともに、今回初めて製作した「西陣織タスキ」についても、お知らせします。

記

#### 1 2017大会出走応援大使

##### フルマラソン

- ◎ 山中 伸弥 さん (京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授, 京都市名誉市民)
- ◎ 原 邦夫 さん (スポーツドクター, 国民栄誉賞受賞)

##### ペア駅伝

- ◎ 島袋 勉 さん(2区) (両足義足のランナー)
- 早狩 実紀 さん(1区) (京都光華 AC 所属陸上競技選手, MINORI RC 代表)
- 桧山 進次郎 さん(2区) (元阪神タイガース, 野球・スポーツコメンテーター)

※ 「◎」は出走記者会見御出席者。「○」は御欠席者

#### 2 新任応援大使

- ◎ 青木 愛 さん (元シンクロナイズドスイミング日本代表, 北京五輪出場)



(プロフィール)

京都踏水会で水泳をはじめ、8歳から本格的にシンクロナイズドスイミングに転向。ジュニア五輪で優勝するなど頭角を現し、中学2年から井村雅代氏（現・日本代表ヘッドコーチ）に師事する。20歳で世界水泳に臨む日本代表選手に初選出されたが、肩のケガにより離脱。その後も補欠に回ることが多く、「未完の利器」と称された。苦勞の末、不転の決意で臨んだ北京五輪代表選考会では劣勢を覆し代表の座を獲得。欧米選手に見劣りしない恵まれた容姿はチーム演技の核とされた。引退後は、メディア出演を通じてシンクロに限らず幅広いスポーツに携わっている。

#### 3 駅伝発祥100年記念企画について

1917年に京都の三条大橋をスタートし、東京上野を目指した「東海道駅伝徒歩競争」が「駅伝」のルーツと言われます。その発祥100年を記念して、京都マラソンではペア駅伝の定員を倍増するなど、「駅伝」にちなんだ次のような取組を行います。

## (1) 「地域の絆・つながり枠」

- 同一区に在住する区民同士のペアを対象とした「地域の絆・つながり枠」(50組100名)。今まで「京都市民枠」がなかった「ペア駅伝」における初の「京都市民枠」でもあります。
- 同枠で出走するペアは、「地域の絆・つながり枠」と刺繍の入ったタスキと各区の名前入りシールを付けて出走。更に多くの市民の皆さまに、京都マラソン名物ともいわれる「沿道のアツイ応援」を盛り上げていただく狙いもあります。

奥野百合子さん(1区)・田中三郎さん(2区) ～記者会見出席ペアについて～  
定年退職後、健康のためにウォーキングを続ける田中さんと、ランニング好きな奥野さんの親子。地域の方々や沿道の声援を力に代え、親子の絆で完走を目指します。

## (2) 西陣織タスキ

「駅伝を象徴するタスキに京都らしさを！」という声を受け、また、2017年が西陣織発祥550年(※)に当たることにちなんで、今回初めて西陣織の手法で製作する西陣織のタスキ。西陣織連合青年会様の全面的な御協力の下、緑、ピンク、金の3種類のタスキを製作し、出走者の方々に掛けていただきます。

### 【西陣織タスキの種類】

- ・ 緑 … ペア駅伝(一般)
- ・ ピンク … 「地域の絆・つながり枠」(京都市民枠)
- ・ 金色 … 応援大使



製作：西陣 田中伝

### ※ 西陣織発祥550年

西陣の地名は室町時代に起きた「応仁の乱」で西軍の陣地が置かれたことに由来します。西陣織工業組合では、乱が始まった1467年を西陣織の呼称誕生の年に定めており、2017年は、550年の節目の年に当たります。

## 【フルマラソン出走!】



(山中 伸弥 さん)

1962 年生まれ。1987 年に神戸大学医学部を卒業。国立大阪病院臨床研修医を経て、大阪市立大学院医学研究科を修了。米国グラッドストーン研究所、奈良先端科学技術大学院大学などで研究を続け、2006 年に世界で初めてマウス iPS 細胞作製成功を発表。続いて 2007 年にヒト iPS 細胞作製成功を発表した。2010 年 4 月に京都大学 iPS 細胞研究所長に就任し、2012 年 12 月ノーベル生理学・医学賞を受賞した。2010 年京都市市民栄誉賞、2013 年京都市名誉市民。京都マラソンには過去 3 回出場し、完走を目標に iPS 細胞研究のための寄付を募った。



(原 邦夫 さん)

1955 年京都市生まれ。1981 年京都府立医科大学卒業。現在は、京都鞍馬口医療センター整形外科部長、京都府立医科大学特任教授。フィギュアスケートの高橋大輔氏、マラソンの野口みずき氏、リオ五輪出場の福土加代子選手などトップアスリートの治療を行い、「膝の神様」ともいわれている。ドイツW杯で優勝した女子サッカー日本代表(なでしこジャパン)には長年帯同し、チームの一員として国民栄誉賞とともに受賞した。京都サンガ、京都ハンナリーズのチームドクターも務め、選手を陰で支えている。自己ベストは、フル：2 時間 58 分 58 秒、ハーフ：1 時間 19 分 20 秒

## 【ペア駅伝出走!】



(島袋 勉 さん)

1963 年沖縄県那覇市生まれ。2001 年アメリカの IT 事業視察の帰り、千葉県にて踏切事故により両下腿切断。高次脳機能障害(記憶障害)を負う。2004 年 11 月両足義足でトリムマラソン 3 km に初挑戦。2004 年 12 月ホノルルマラソンへ初挑戦。それからバンクーバー・ゴールドコースト・NY シティ・ロンドンマラソン等各地マラソンに出場。「あきらめない習慣」を身に着けるためマラソン、自転車、登山を続けている。

【主な著書】「義足のランナー」(文芸社)「夢をあきらめない」(ごま書房新社)



(早狩 実紀 さん)

1972 年 11 月 29 日京都市生まれ。宇治市立槇島中学校時代から陸上を始め、京都府立南八幡高校(現 京都八幡高校)、同志社大学を経て、現在は光華女子学園勤務、京都光華アスレティッククラブ所属。京都で行なわれる全国女子駅伝には、選手・監督として 27 回出場。トラックでは女子 3000m 障害の第一人者として、北京五輪・世界陸上などに出場。3000m 障害日本記録保持者。2014 年度「京都スポーツの殿堂」入り。2015 年、京都を中心に活動するランニングクラブ「MINORI RC」を発足。代表兼ヘッドコーチを務める。



(桧山 進次郎 さん)

1969年7月1日生まれ。京都市出身。1991年ドラフト4位で阪神タイガースに入団。2001年から3年間選手会長に就任し、18年ぶりのリーグ優勝へチームを導く。日本シリーズでも4番として出場し、優秀選手賞を受賞。2008年頃から「代打の神様」と称されるようになり、2013年10月クライマックスシリーズで放った代打2ランホームランを現役最後に、ファンに惜しまれながらも引退した。現在は野球解説者・スポーツコメンテーターとして活躍。2014年度「京都スポーツの殿堂」入り。

【主な著書】『生え抜き タイガースから教わったこと』『代打の哲学』『待つ心、瞬間の力』【テレビ】「おはよう朝日です 木曜日」「教えて！ニュースライブ 正義のミカタ」「キャスト」【ラジオ】「サクサク土曜日 中邨雄二です」「ガチ虎」

#### (参考) 京都マラソン2017応援大使一覧 (全14名)

- 山中 伸弥さん (京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授, 京都市名誉市民)
- 森脇 健児さん (タレント)
- 千葉 真子さん (スポーツコメンテーター)
- 島袋 勉さん (両足義足のランナー)
- 朝原 宣治さん (大阪ガス陸上競技部副部長)
- 奥野 史子さん (スポーツコメンテーター)
- 谷口 キヨコさん (DJ/タレント)
- 原 邦夫さん (スポーツドクター, 国民栄誉賞受賞)
- 早狩 実紀さん (京都光華 AC 所属陸上競技選手/MINORI RC 代表)
- 本田 望結さん (女優/フィギュアスケーター)
- 桧山 進次郎さん (元阪神タイガース/野球・スポーツコメンテーター)
- 山田 幸代さん (プロ・ラクロス選手)
- 伊藤 舞さん (リオ五輪女子マラソン日本代表)
- 青木 愛さん (元シンクロナイズドスイミング日本代表, 北京五輪出場)